

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 04 年 06 月 27 日

滋 賀 県 知 事 殿

提出者

住 所 大阪市北区南森町 1-4-24

氏 名 栗原工業株式会社 工務本部
本部長 竹 部 佳 祐

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

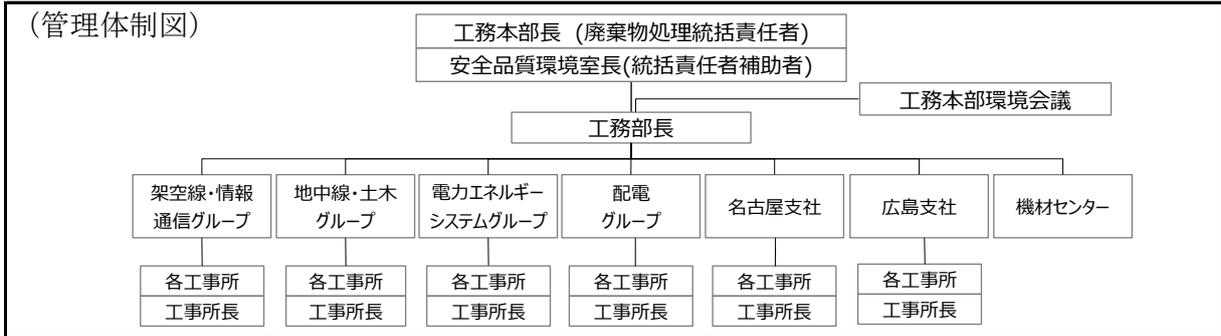
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	栗原工業株式会社 工務本部
事業場の所在地	大阪市北区南森町 1-4-24
計画期間	令和04年04月01日～令和05年03月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	08. 設備工事業
②事業の規模	令和03年度完成工事高 7,339百万円
③従業員数	122名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり [木 く す] 中間処理業者に委託し、選別破碎後にチップ化又は焼却 [紙 く す] 中間処理業者に委託し、選別後に再生利用又は焼却 [廃プラスチック類] 中間処理業者に委託し、選別破碎後に再生原料又は焼却・減容固化 [建設系混合廃棄物] 中間処理業者に委託し、選別破碎・減容固化→再生原料・埋立・焼却

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙の通り
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙の通り

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了 するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類 現状と計画	がれき類		建設混合廃棄物		廃プラスチック		紙くず		木くず		ガラス、コンクリート、陶磁器くず		汚泥	
	現状 (前年度実績)	計画 (目標)	現状 (前年度実績)	計画 (目標)	現状 (前年度実績)	計画 (目標)	現状 (前年度実績)	計画 (目標)	現状 (前年度実績)	計画 (目標)	現状 (前年度実績)	計画 (目標)	現状 (前年度実績)	計画 (目標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項														
排出量	3,004.27	0.00	27.28	0.00	8.05	2.40	1.20	1.20	9.35	3.60	10.68	0.00	111.10	0.00
これまでに実施した取組	建設廃棄物の分類に基づき、各作業所で可能な限り分別を実施し、再資源化及び廃棄物発生量の削減を目指している。						建設廃棄物の分類に基づき、各作業所で可能な限り分別を実施し、再資源化及び廃棄物発生量の削減を目指している。							
今後実施する予定の取組	工事竣工に伴い、産廃処理委託量は減少予定。新たな工事竣工の際は、現状の取り組みを継続する。						工事竣工に伴い、産廃処理委託量は減少予定。新たな工事竣工の際は、現状の取り組みを継続する。							
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項														
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t
これまでに実施した取組	自ら再生利用を行っていません。						自ら再生利用を行っていません。							
今後実施する予定の取組	自ら再生利用を行っていません。						自ら再生利用を行っていません。							
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項														
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t
これまでに実施した取組	自ら中間処理を行っていません。						自ら中間処理を行っていません。							
今後実施する予定の取組	自ら中間処理を行っていません。						自ら中間処理を行っていません。							
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項														
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t	0.0	0.0 t
これまでに実施した取組	自ら埋立処分又は海洋投入処分は行っていません。						自ら埋立処分又は海洋投入処分は行っていません。							
今後実施する予定の取組	自ら埋立処分又は海洋投入処分は行っていません。						自ら埋立処分又は海洋投入処分は行っていません。							
産業廃棄物の処理の委託に関する事項														
全処理委託量	3,004.27	0.00	27.28	0.00	8.05	2.40	1.20	1.20	9.35	3.60	10.68		111.10	
優良認定処理業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
再生利用業者への処理委託量	3,004.27	0.00	27.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	9.35		10.68		111.10	
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
これまでに実施した取組	適正な処理業者を選定すると共に、電子マニフェストに対応した収集・運搬、中間処理業者への委託を推進している。						適正な処理業者を選定すると共に、電子マニフェストに対応した収集・運搬、中間処理業者への委託を推進している。							
今後実施する予定の取組	工事竣工に伴い、産廃処理委託量は減少予定。新たな工事竣工の際は、現状の取り組みを継続する。						工事竣工に伴い、産廃処理委託量は減少予定。新たな工事竣工の際は、現状の取り組みを継続する。							